

講義名	研究演習		
講義コード	45416	授業形態	
担当教員	前川 明	開講期・曜日・時限	通年 木曜日 5時限
		サンパリング・コード	SEM350

学部・学科	演習分野
全学部（商学部、経済学部、人間社会学部）、全学科	キャリアデザイン・能力開発

概要説明

「考え、行動し、未来を創る 成長を実感できる実践的なゼミ」
本ゼミでは、キャリア形成と能力開発をテーマとし、研究と実践活動の両立を目指しています。学生は、輪読や卒業論文の執筆を通じて、キャリアに関する知識を深めるとともに、企業や自治体との連携による課題解決プロジェクトや、学祭での模擬店出店など、実践的な活動に積極的に参加します。これらの活動を通して、問題解決能力、コミュニケーション能力といった、社会で求められる力を養い、自己成長を実感することができます。本ゼミの活動は、学生の主体的な学びを促し、これまでの卒業生の進路は大手企業への就職、大学院進学、起業など、自身の希望する進路選択を後押ししています。

主な卒業論文のタイトル

主なテーマ一覧
本学留学生が抱えている日本語発話不安の要因についての考察 -流通科学大学の留学生に量的調査と質的調査をしてみえたこと -
・鉄道員のキャリアについて
・大学でのキャリア教育について
・サッカー選手のキャリアについて
・結婚・出産と女性のキャリアについて
・小学校から高校までのキャリア教育
・犯罪行為者の出所後のセカンドキャリアの形成と社会復帰までの道
・女子大生のキャリアデザインに必要なことは何か
・貧富の差による子ども教育格差
卒業論文のテーマおよび3年次に執筆する研究計画書のテーマです。

教員からの要望

理論を学び、それを実証するために実践経験を積んでいきますので、本や資料を読んで勉強したことを実践経験につなげて考えられる学生にゼミに参加してもらいたいです。そのために、学生の皆さんには「本気で勉強に取り組むこと」と「実践活動に熱心に取り組むこと」を望みます。その真剣な取り組みが「進路（主に就職）」にも結びつきます。

具体的には
・ゼミ活動を最優先にできる方
・勉強（輪読）をしますので、勉強することに前向きに取り組める方（自分で調べたり、資料作成をしますので、そういうことが苦でない方）
・グループワークも前向きに取り組める方（友達でない人ともコミュニケーションをとることが多いです。）
・進路決定に向けて真剣に考え、行動できる方

選考方法

個別ガイダンス（オープンゼミも含む）への参加（ゼミの内容を理解した上で、応募してください）
応募書類の内容
特に志望理由、ゼミで何をしたい（主に研究や勉強について）のか、主体的な思いを記入してください。
成績（単位数） 応募人数が多ければ、34単位以上を目安にしています。
以上の点を総合的に判断し、特に意欲の高い人を評価します。
応募人数が多ければ、グループワークと面談を実施します。

評価方法

研究演習：ゼミへの貢献度、参加度合（出席、発言量、活動量、責任感、課題提出など）で総合的に評価します。
研究演習：研究演習の評価項目に加えて、卒業論文の研究計画書の内容を評価します。
研究演習：研究演習の評価項目に加えて、就職活動レポート（2000字以上）の内容を評価します。
卒業論文：卒業論文の内容を評価します。

教員英字氏名	研究室
Akira Maekawa	5412研究室

最終学歴

龍谷大学大学院 政策学研究所 政策学専攻 博士後期課程 単位取得満期退学

学位

修士（政策学）

主な研究活動・社会活動・研究業績

小売業での現場経験と洋菓子メーカーでの人事（採用・教育）を経て、20年以上にわたりキャリア支援に従事。
大学生の就職支援から転職者の面接指導、企業の面接代行まで、産学双方の視点を有する。
大学教員としては、「大学と実社会をつなぐ『翻訳』としてのキャリア教育」を提唱。
主な研究テーマは、課題先進大学における初期配置（早期のキャリア意識形成）を意識する教育プログラムの開発、および日本人学生と留学生の混成授業による多文化間協働。実務家としてのリアリティと、研究者としての理論的枠組みを統合し、学生が社会へ円滑に移行するための教育実践を行っている。

趣味・特技

趣味：仕事（大学生に教え、共に学ぶこと）、安価で高性能な腕時計を集めること

所属

人間社会学部 人間健康学科

所属学会

日本ビジネス実務学会

専門分野

キャリア教育、キャリアデザイン、若年者の能力開発、人事企画（採用、教育、人事制度）

担当科目

オフキャンパスプログラム、キャリア入門、ビジネス実務、キャリア基礎論、オフキャンパスプログラム、キャリア実践論、キャリアビジネス論、研究演習、研究演習、卒業研究

備考

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
小売業での販売職（3年）、洋菓子メーカーでの人事（採用・教育）（5年）を経て、その後、21年間、キャリア教育の講師、就職アドバイザーとして大学生の就職支援、キャリア教育、転職者の面接指導、面接のセミナー、企業の採用支援（面接代行）に従事してきました。その経験を生かして、大学での学びや大学生活（課外活動など）での経験が、どのように社会で役に立つのかを事例を交えて解説します。